中間検査チェックシート　　共　通 NO-1

建物概要	1	建築確認番号	
		建築確認年月日	年　　月　　日
	2	建 築 場 所	
		建 築 主 氏 名	
	3	工 事 監 理 者	資格　一級　・　二級　・　木造　建築士　番号
		監 理 者 氏 名	電話
	4	工 事 施 工 者	登録　　年　　知事・大臣　一般・特定　番号
		管 理 者 氏 名	電話

工事監理の状況			
検 査 年 月 日	令和　　年　　月　　日	検 査 員 職 氏 名	

集 団 規 定

検査項目	内　　容	確認日付		検査方法	結　　果			
		施工者	監理者	A：目視検査 B：計測検査 C：監理者報告	一次判定	判定月日	二次判定	判定月日
①敷地の安全性(法 19 条)	1.がけ又は擁壁の安全			A・B・C				
	2.敷地の高低差			A・B・C				
②敷地と道路の関係(法 42 条, 43 条) 県条例等	1.前面道路の幅員			A・B・C				
	2.接道長さ			A・B・C				
	3.敷地内道路			A・B・C				
③敷地面積 容積率　建ぺい率(法 52 条,53 条,54 条の 2)	1.敷地形状の確認			A・B・C				
	2.確認申請図面の平面図との照合			A・B・C				
④外壁後退等(法 54 条)	1.建物配置の確認			A・B・C				
⑤道路斜線等(法 55 条, 56 条、58 条)	1.各部分の高さの確認(平面図等との照合)			A・B・C				
	2.緩和規定適用の場合の後退部分の外構制限及び前面道路との高低差等			A・B・C				
⑥確認表示板の設置(法 89 条)	1.確認表示板の設置及び記載内容の確認			A				
⑦工事現場の危害の防止	政令第 136 条の 2 の 20～第 136 条の 8 仮囲い、防護ネット等			A				
⑧その他								

※太線枠内は記入しないで下さい

単 体 規 定 （構 造 規 定）　　（軸組工法） NO-2

検査項目	内　　容	確認日付		検査方法	結　　果			
		施工者	監理者	A：目視検査 B：計測検査 C：監理者報告	一次判定	判定月日	二次判定	判定月日
①全体	1.柱、はり、壁、床の位置			A・C				
	2.木材の節、腐れ			A・C				
②基礎・地盤	1.種類（布・ベタ・その他）			A・C				
	2.形状・寸法			A・B・C				
	3.床下換気口			A・C				
	4.支持地盤の良否			C				
③土台等	1.形状・寸法・材質			A・B・C				
	2.火打設置位置の確認			A・C				
④ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	1.配置、緊結の状況			A・B・C				
⑤柱	1.形状・寸法			A・B・C				
	2.接合部の状況			A・C				
	3.ホールダウン金物の設置位置・接合状況			A・C				
⑥横架材	1.形状・寸法			A・B・C				
	2.接合部の状況			A・C				
⑦筋かい	1.形状・寸法			A・B・C				
	2.欠込み部の補強			A・C				
	3.接合部の状況			A・C				
	4.配置の確認			A・C				
⑧床組等	1.形状・寸法			A・B・C				
	2.床高さ（又は床下防湿）			A・B・C				
	3.防腐、防蟻			A・C				
	4.火打設置位置の確認			A・C				
⑨小屋組等	1.形状・寸法			A・B・C				
	2.必要な振止めの設置状況			A・C				
	3.接合部の状況			A・C				
	4.火打設置位置の確認			A・C				

⑩不具合の処置				
⑪添付図書				
合否判定	一次判定	合格　不合格	二次判定	合格　不合格

※太線枠内は記入しないで下さい

（枠組壁工法）　NO-2

検査項目	内　　容	確認日付		検査方法	結　　果			
		施工者	監理者	A：目視検査 B：計測検査 C：監理者報告	一次判定	判定月日	二次判定	判定月日
①全体	1.構造耐力上主要な部分の材料の品質（枠組材、構造用合板、釘、金物等）			A・B・C				
	2.釘・金物の種類、間隔等			A・B・C				
②基礎・地盤	1.種類（布・ベタ・その他）			A・C				
	2.形状・寸法			A・B・C				
	3.床下換気口			A・B・C				
	4.支持地盤の良否			C				
③床組の状況	1.床根太間隔			A・B・C				
	2.床開口部の補強			A・B・C				
	3.床材の厚さ			A・C				
	4.床根太と土台			A・B・C				
	5.端根太と土台			A・B・C				
	6.転び止め			A・B・C				
	7.防腐、防蟻			A・B・C				
④ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	1.配置、緊結の状況			C				
⑤耐力壁等	1.耐力壁の位置			A・B・C				
	2.たて枠相互の間隔			A・B・C				
	3.交差部の補強			A・B・C				
	4.耐力壁のたて枠の緊結			A・B・C				
	5.耐力壁の上枠の頭つなぎ			A・B・C				
	6.開口部のまぐさ、まぐさ受け			A・B・C				
	7.床の枠組と床材との緊結			A・B・C				
	8.壁の枠組と壁材の緊結			A・B・C				
	9. .防腐、防蟻			A・B・C				
⑥小屋組	1.たるきの形状・寸法			A・B・C				
	2.振れ止めの設置状況			A・B・C				
	3.各部材相互の緊結			A・B・C				
	4.耐力壁設置			A・B・C				
⑦不具合の処置								
⑧添付図書								
合否判定	一次判定	合格　不合格		二次判定	合格　不合格			

※太線枠内は記入しないで下さい

検査項目			検査内容	確認日付 施工者	確認日付 監理者	検査方法 A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	結果 一次判定	結果 判定月日	結果 二次判定	結果 判定月日
①加工工場における品質確認	1.加工工場の選定		建築物の規模等の条件に見合った類別であること			C				
	2.材料の品質確認		鋼材、高力ﾎﾞﾙﾄｾｯﾄ、溶接材料の規格			C				
	3.組立精度の確認		開先角度、ﾙｰﾄ面、ﾙｰﾄｷﾞｬｯﾌﾟ、食違い等の精度 ※			C				
	4.製品検査Ⅰ（部材の寸法精度測定）		部材の寸法精度 ※			C				
	5.高力ﾎﾞﾙﾄ接合部の処理		高力ﾎﾞﾙﾄ接合部の摩擦接合面の処理、ﾎﾞﾙﾄ孔の径・ﾋﾟｯﾁ等 ※			C				
	6.製品検査Ⅱ（溶接接合部の品質）		溶接方法 外観検査及び超音波探傷検査結果			C				
②現場検査	1 全体	1)加工工場の類別	表示板による加工工場の類別ｸﾞﾚｰﾄﾞ確認			A				
		2)部材の配置	柱、はり、ﾌﾞﾚｰｽ、床版等の配置			A・C				
		3)部材の寸法・形状	柱、はり、ﾌﾞﾚｰｽ、床版等の寸法・形状			A・B・C				
		4）建て方精度	架構の建て方精度			A・C				
	2 基礎・地盤	1）支持地盤	根伐り底の確認、地耐力等			C				
		2）基礎形状	a 基礎の種類、杭の工法、長さ、径、位置、杭頭補強、偏心等			C				
			b ベース寸法、主筋の径、本数、位置、偏心による補強等			C				
		3）地中ばり	断面寸法、主筋等、本数、位置、定着方法、継手（位置、長さ）、あばら筋の位置、径、間隔、形状、偏心による補強等			C				
		4）立ち上り	a 断面寸法、主筋径、本数、定着方法、帯筋径、間隔、形状等			C				
	3 溶接接合部	1）工場溶接部分の外観・形状	a 溶接継ぎ目の種類（突合せ溶接・すみ肉溶接－まわし溶接）			C				
			b 溶接継ぎ目の食い違い ※			C				
			c ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄ等の断面欠損 ※			C				
			d われ ※			C				
			e その他の溶接部の外観・形状 ※			C				
			f ｽｶﾗｯﾌﾟ、ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞ、裏あて金物 ※			C				
		2）現場溶接部分組立精度確認	開先角度、ﾙｰﾄ面、ﾙｰﾄｷﾞｬｯﾌﾟ、食い違い等の精度 ※			C				
		3）現場溶接部分の製品検査	外観検査及び超音波探傷試験検査結果			C				

※太線枠内は記入しないで下さい

		4）現場溶接部の外観・形状	a 現場溶接部の部位			A・C				
			b 溶接継ぎ目の種類（突合せ溶接・すみ肉溶接―まわし溶接）			A・C				
			c 溶接継ぎ目の食い違い ※			C				
			d ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄ等の断面欠損 ※			C				
			e われ ※			C				
			f その他の溶接部の外観･形状 ※			C				
			g 養生方法 ※			C				
	4 ボルト接合部	1）ﾄﾙｼｱ型	a 現場受け入れ検査（ﾄﾙｸ係数値確認・導入張力確認試験）			C				
			b ﾎﾞﾙﾄの径、本数、ｽﾌﾟﾗｲｽ数、間隔縁あき、端あき			A・C				
			c 締付け状態の確認（肌すき・ﾋﾟﾝﾃｰﾙ破断・ﾏｰｷﾝｸﾞの状態）、摩擦面の処理			A・C				
		2）JIS 型六角	a 締付け機器の調整、現場受け入れ検査（導入張力確認試験）			C				
			b ﾎﾞﾙﾄの径、本数、ｽﾌﾟﾗｲｽ数、間隔縁あき、端あき			A・C				
			c 締付け状態の確認（肌すきの有無・ﾏｰｷﾝｸﾞの状態）、摩擦面の処理			A・C				
		3）中ﾎﾞﾙﾄ	ボルト径、本数、ゆるみ止め			A・C				
	5 ブレース		a ﾌﾞﾚｰｽの形式・板厚・材質・補剛材等			A・B・C				
			b ﾎﾞﾙﾄ径、本数、たわみのチェック			A・C				
	6 柱脚接合部		a 柱脚接合工法の良否（認定工法→ ）			A・C				
			b ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄの材質・形状・板厚			A・C				
			c ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの材質・径・本数及び配置、保持・埋め込み方法、締め付け状態（余長）			A・C				
			d ｽﾀｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄの径･本数･配置			C				
	7 床スラブ		a 床構造の形式			A・C				
			b 接合部の施工状況			A・C				

③不具合の処置			
④添付図書			
合否判定	一次判定	合格　不合格	二次判定	合格　不合格

検査項目		検査内容	確認日付		検査方法	結果			
			施工者	監理者	A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	一次判定	判定月日	二次判定	判定月日
①全体	全　体	1.柱、はり、壁、ｽﾗﾌﾞの位置			A・C				
②共通	共　通	1.鉄筋の材質			C				
		2.かぶり厚さ			A・C				
		3.コンクリートの調合及び圧縮強度			C				
		4.型枠支柱存置期間　※			C				
		5.コンクリート打設後の養生　※			C				
③地盤・基礎	支持地盤	1.根伐り底の確認、地耐力等			C				
	基礎形状	1.基礎の種類、杭の工法、長さ、径、位置、杭頭補強、偏心等			C				
		2.ﾍﾞｰｽ寸法、主筋の径、本数、位置、偏心による補強等			C				
	地中ばり	1.柱径寸法、主筋の径、本数、配置（方向）			C				
④柱	主　筋	1.柱径寸法、主筋の径、本数、配置（方向）			A・B・C				
		2.二段筋の位置（間隔）、結束			A・B・C				
		3.柱頭鉄筋の止まり高さ、各階止まり主筋の定着、主筋の出隅のフック、主筋のはりに対する定着			A・B・C				
	継　手	1.主筋の継手位置、長さ、主筋の出隅のフック			C				
	帯　筋	1.鉄筋径（副帯筋共）、間隔及び形状			A・B・C				
		2.主筋絞り部、折曲げ部の帯筋補強			A・B・C				
		3.仕口部分の帯筋の配置			A・B・C				
		4.第一帯筋と柱頭拘束帯筋の位置			A・C				
		5.帯筋のフック形状、結束			A・B・C				
⑤はり	主　筋	1.断面寸法、主筋の径、本数及び位置			A・B・C				
		2.二段筋の間隔の確保、長さ			A・B・C				

※太線枠内は記入しないで下さい

	定着・継手	1.主筋の定着長さ、位置			A・B・C				
		2.継手の位置と長さ			A・B・C				
		3.主筋出隅部の継手末端フック			A・B・C				
	ふかし、貫通孔補強筋	1.補強方法が適当か			A・B・C				
		2.貫通孔補強筋（評定品の仕様）			A・B・C				
	あばら筋	1.あばら筋（副あばら筋共）の径と間隔			A・B・C				
		2.あばら筋のフック形状、位置及び結束			A・B・C				
⑥スラブ（庇及び階段含む）	スラブ筋	1.スラブ厚、鉄筋の径と間隔			A・B・C				
		2.主筋配置（短辺、長辺）、ベンド配筋、支持条件			A・B・C				
		3.上端筋と下端筋の位置			A・B・C				
	定着・重ね継手	1.定着の長さと方法（はり定着、隣接スラブ定着、段差スラブ定着）			A・B・C				
		2.片持ちスラブの定着			A・B・C				
		3.継手の位置と長さ			A・B・C				
	補強筋等	1.床スラブの出入隅部の補強			A・B・C				
		2.開口部補強			A・B・C				
		3.階段部配筋と定着、補強			A・B・C				
⑦壁	壁　　筋	1.壁厚寸法、鉄筋の径、間隔			A・B・C				
	定着・重ね継手	1.定着確認（はり、柱、スラブ、壁定着）			A・B・C				
		2.重ね継手の位置と長さ			C				
	補強筋等	1.開口部補強			C				
		2.スリット（完全・部分）の位置、形状及び配筋			C				
⑧その他	設備配管等	1.設備配線管の配置			A・C				
	ガス圧接継手	1.欠陥の有無			A・C				
	特殊鉄筋継手	1.評定、認定工法の確認			A・B・C				

⑨　不具合の処理				
⑩　添付図書				
合否判定	一次判定	合格　不合格	二次判定	合格　不合格